

令和2年9月7日（月）

柏中生へのメッセージ（あいさつ編）

校長 内田

- ・ 今月、生活委員会や学年委員会、部長会などが連携して「あいさつ向上キャンペーン」を展開してくれると聞いています。
- ・ 私としても「その後押しをしたい！」と考え、メッセージを送ることにしました。
- ・ 私は、「あいさつにはとても大きな力がある！」と考えています。
- ・ その一番は「信頼が得られる。」、次に「安心を与える。」
- ・ そうなのです！ 得ることも与えることも同時にできるのです。



- ・ この写真は、柏中に所縁のある版画家「大野隆司先生」に昨年度寄贈していただいたものです。
- ・ 柏中には大野先生の版画と版画の中に表現されたメッセージが溢れています。
- ・ この「おはよーって、すきだよーににているね」という温かいメッセージには、あいさつの持つ力が的確に表されていて、とても気に入っています。
- ・ 皆さんは、どう感じますか？

- ・ 皆さんは、社会に出たときに通用する力を蓄えるために、学校に通っています。
- ・ 「あいさつができることと、時間を守れること。」は、いち早く信頼を勝ち取り、社会や世界に通用する、人としての力と成り得ますので、学校に通っている間に身に付けるべきものと言えます。
- ・ 仮に、あいさつができる力を「あいさつ力（りょく）」とすると、あいさつ力は誰でも向上させることができます。ましてや学力や体力と比べても、とても簡単に向上できるものなのです。簡単な割に、あいさつ力を身に付ければ、先程説明したように大きな力を発揮できるのですから、こんなに得なことはありません。
- ・ とは言え、意識も訓練もなしに向上することはありません。
- ・ まずは相手の顔を見て、はっきりと声を出し、気持ちを届けてみましょう。
- ・ また、「授業や部活動など」みんなでするあいさつは、あいさつ力を合わせるつもりで、元気いっぱいやってみましょう。

- ・ では、あいさつの「凄さ」を知った柏中の皆さんには、「声と心を届ける」意識を持って、自分から進んで実践して欲しいと願います。

- ・ 「あ」・・・明るく（ハキハキと笑顔で）
- ・ 「い」・・・いつも（いつでも）
- ・ 「さ」・・・先に（自分から進んで）
- ・ 「つ」・・・続ける（習慣にする）

- ・ 気持ちの良いあいさつが響き合う柏中にしていきたいと思います！！